

戦国時代初期の有馬家と外交戦略

キリシタン大名有馬晴信が生まれる30年前、有馬家の勢力は、佐賀県佐賀市付近にまで及んでいました。

有馬晴信は天下を統一した豊臣秀吉、徳川家康から島原半島を与えられましたが、晴信が本当に求めたのは、肥前東部における覇権の奪還でした。

今回の講演では、キリシタン大名有馬氏誕生の遠因でもある戦国時代の有馬家の繁栄について、外交戦略の観点からお話します。

- 日 時** 令和8年8月30日（日）午後2～3時
- 場 所** 口之津歴史民俗資料館本館多目的ホール
- 講 師** 有家史談会会員 石司 隆一 氏
- 主 催** 南島原市口之津歴史民俗資料館
- 後 援** 有家史談会、口之津史談会、あいま南蛮
- 参加費** 無料
- 参加方法** 自由参加 ※当日受付を行います。参加者数把握のため、できるだけ事前の申し込みをお願いします。
- 申込・問合せ先** 南島原市口之津歴史民俗資料館
- TEL : 0957-73-6773**